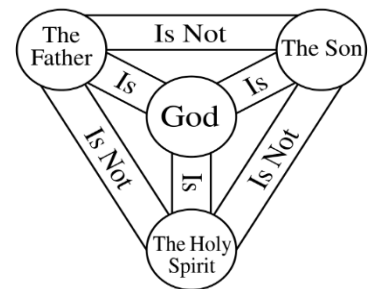


第06講 ヨーロッパ世界の形成(ゲルマン・ルマン人とローマ教皇権の盛衰)

- ① フランク王国が成立・分裂し、新国家が成立するまでの流れを、順番に並べ替えなさい。
 ①ヴェルダン条約 ②聖像禁止令 ③ピピンの寄進 ④神聖ローマ帝国成立
- ② フランク王国と関係の深い人物とその業績の組み合わせとして正しいものを1つ選べ。
 ①カール大帝 = レオ10世より戴冠 ②クローヴィス = カロリング朝開く
 ③テオドリック = イタリアに王国建国 ④カール・マルテル = イスラーム軍撃退

- ③ キリスト教に関わる右の図に関して述べた正しい文を1つ選べ。
 ①「The father」とはイエス、「The Son」とは使徒のことである
 ②この考え方は、現在エジプトやエチオピアに広がっている
 ③この考え方は、ローマ教皇の提唱した会議で正統化された
 ④「God」がイエス自体を表すアタナシウス派の考えである



- ④ 下の4つのコメントと3つの写真を組み合わせた時、1つだけ当てはまらないコメントがある。A～Dより1つ選び、答えなさい。
- A：クリスマスの時にもみの木に飾りをつけるのは、ローマ文化とゲルマン文化とキリスト教が融合した証だね・・・
- B：ローマ教皇が自らの威厳を高めるために、聖地奪回をもくろんだというのは、現代の社会でもよくあることだね・・・
- C：十字軍が失敗して、地に落ちた自分の権威を復活するために、皇帝や国王と提携を図ろうとするのは分からないでもないね・・・
- D：上司を怒らせて、お前なんか破門だ！と言われ、今の地位を追われるなんてことは、まさに屈辱極まりないね…

あ



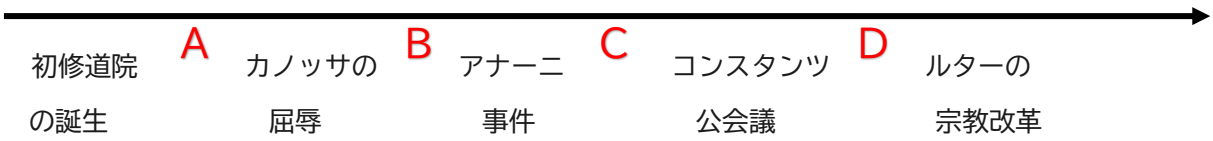
い



う



⑤ 下の年表を見て、あとの問いに答えなさい。



(1) 下の2つ漫画の出来事はそれぞれ、A～Dのどの時期を背景としているものか？

あ

い

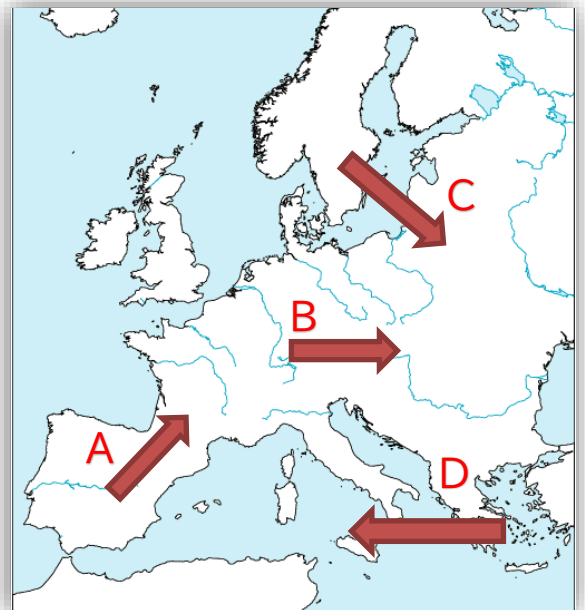


(2) A～Bの時期に作られた修道院に関する文として、正しいモノを1つ選びなさい。

- ① 初めて6世紀に、ベネディクト修道会がイングランドに設立された。
- ② 修道院長は、封建領主として所領を支配した。
- ③ 教会の世俗化を広げるためにクリュニー修道院が設立された。
- ④ 十字軍の敗北により、シトー修道会が設立された。

⑥ 地図上の→を示す動きについて、その説明の組み合わせが正しいものを1つ選べ。

- A : キリスト教徒の巡礼
- B : マジャール人の侵入
- C : ノルマン人とスラヴ人の融合
- D : キリスト教徒の聖地奪回



⑦ ローマ教皇とその業績の組み合わせとして、正しいモノを1つ選べ。

- ①ウルバヌス2世 = 第4回十字軍を提唱
- ②グレゴリウス7世 = 聖職者課税問題で対立
- ③ボニファティウス8世 = 独帝ハインリヒ4世と対立
- ④インノケンティウス3世 = 英王ジョンを破門